

ミニカップタイプのこんにゃく入りゼリーの現状について

1. 目的

国民生活センターでは、一口サイズのいわゆる「ミニカップ」に入ったこんにゃく入りゼリーについて、乳幼児や高齢者の窒息事故が相次いだことから、1995 年以降過去繰り返しテスト結果や警戒情報を公表してきた。

しかし、2008 年 7 月に再び乳児の死亡事故¹⁾が発生したことから、現在、政府及び業界で、事故防止の対策について検討が行われているところである。

このような中、農林水産省から業界団体に対し、「こんにゃく入りゼリーによる窒息事故防止に向けた対策の強化について」（平成 20 年 9 月 30 日付）が出され、これを受けて、業界団体が「一口タイプのこんにゃく入りゼリーの事故防止強化策について」（平成 20 年 10 月 3 日付）を策定し、注意表示等を改善することとなった²⁾。

そこで、現在、市販されているこんにゃく入りゼリーについて、かたさや弾力性、大きさなどの物性及び事故防止のための注意表示の実態を調査し、情報提供することとした。

2. テスト実施期間

検体購入 : 2008 年 12 月上旬

テスト期間 : 2008 年 12 月

3. テスト対象銘柄

2008 年 12 月 5 日～10 日に購入したミニカップタイプのこんにゃく入りゼリー 6 社（32 銘柄）を対象にテストを行った。（参考資料 1 及び 2 参照）

*テスト対象商品には、製造者もしくは販売者（輸入者）及び商品の名称が同じで、表示等のデザインもよく似ており、フレーバーのバリエーションが異なるものがパッケージングされている商品が複数存在するものがある。本報告書では、個別にパッケージングされた商品を「銘柄」としている。

※このテスト結果は、テストのために購入した商品のみに関するものである。

1) 2008 年 9 月 30 日公表「またひとり こんにゃく入りゼリーで死亡ー子どもや高齢者に絶対に与えない！ー」を参照のこと。（http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20080930_1.html）

2) 政府は、消費者安全情報総括官会議において「こんにゃく入りゼリーによる窒息事故の再発防止について」（平成 20 年 10 月 16 日申合せ）を取りまとめた（参考資料 3 参照）。また、内閣府、厚生労働省、農林水産省の連名で業界団体等に対し、商品の警告表示や流通における注意喚起等の必要な措置を講ずるよう求める「こんにゃく入りゼリーによる窒息事故の再発防止策について」（平成 20 年 10 月 21 日付）という文書が送付された。

4. テスト結果

(1) かたさ・弾力性

現在の商品は銘柄によりかたさや弾力性が異なり、'07年7月に公表した銘柄については、やわらかくなっているものがある一方で、ほとんど変わっていないものがあった

恒温恒湿室内（気温 20℃、相対湿度 60%RH）で、ゼリーの表面が破断したときの力（かたさ）とゼリーの表面が陥没し破断するまでの距離（弾力性）を測定した（図1）。また、'07年7月に公表したときと同じ銘柄（18銘柄）については、'07年7月時と今回のデータを比較したグラフを作成した（図2）。

図1. ゼリーのかたさと弾力性

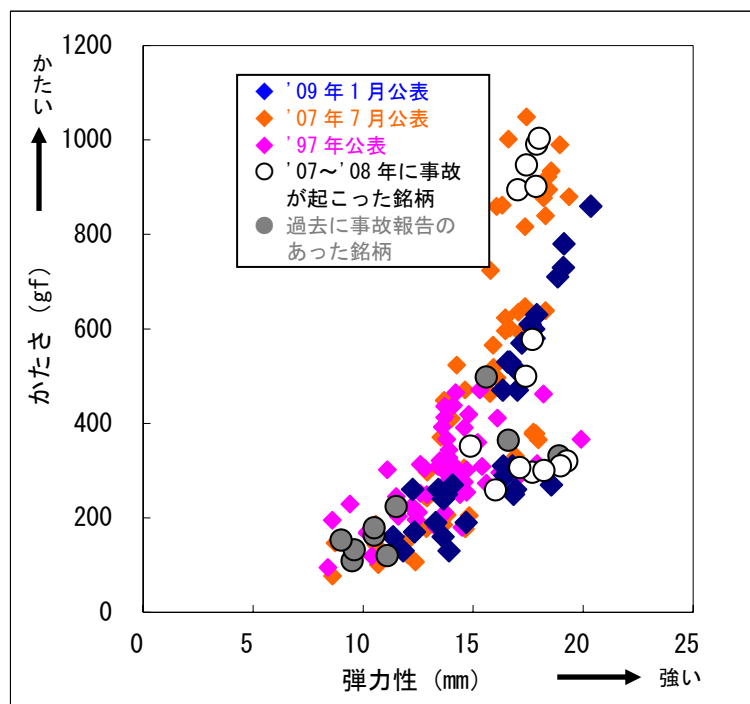
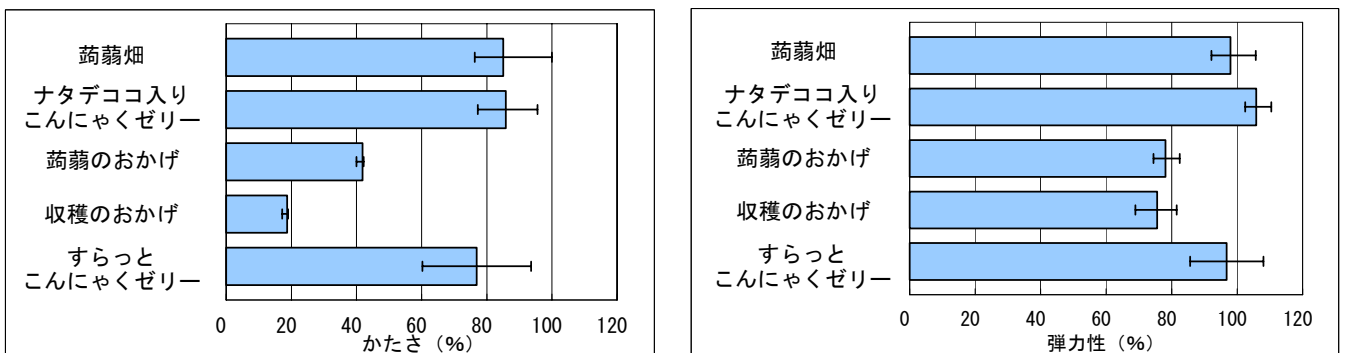



図2. 旧商品との比較



※旧商品と比べ、今回購入した商品のかたさ及び弾力性がそれぞれ何%になっているかを示した。棒グラフは、その銘柄名の商品の平均値を表しており、グラフから伸びるライン（）はフレーバーによるばらつきを範囲を表している。なお、比較しているものは'07年に調査したときにあったフレーバーについてのみである。

「蒟蒻畑」は旧商品と比べてかたさが平均して 2 割ほどやわらかくなっているが、弾力性はほとんど変わっていなかった。

「ナタデココ入りこんにやくゼリー」は、かたさが若干やわらかくなったと思われるが、弾力性はほとんど変わっていなかった。

「蒟蒻のおかげ」は、かたさが平均して以前の 4 割程度になった他、弾力性も 2 割ほど減少していた。

「収穫のおかげ」は、かたさが以前の 2 割程度と大幅にやわらかくなっており、弾力性も 2 割ほど減少していた。

「すらっとこんにやくゼリー」は、以前はかためだった銘柄が 4 割ほどやわらかく、弾力性もやや減少していたものがあった一方で、かたさや弾力性がほとんど変わっていない銘柄もあった。

以上、現在販売されている商品は、一部の銘柄ではやわらかくなっているものもあったが、その一方であまり変わっていないものもあった。

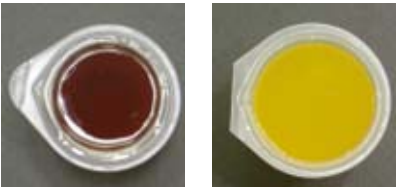


(2) 形状・大きさ

1) 形状

ゼリーの形状は、多種多様あるが、'07 年 7 月に公表した銘柄については、ほとんど変わっていなかった

形状では、'07 年 7 月にテストした際と同様、フタに接している部分（最大径を持つ）は、6 社中 5 社の 22 銘柄が円形だった（'07 年 7 月に公表した銘柄の 76.4%が円形）。その他には、崩れたハート型（1 社 6 銘柄）のものと四角形（1 社 4 銘柄）のものが見られた（表 1）。

表 1. フタに接している部分の形状

	円形	ハート型	四角形
フタに接している部分の形状			
こんにやく入りゼリー	5社 22銘柄	1社 6銘柄	1社 4銘柄

また、ゼリー自体の形状は、各社様々であるが、バケツの様な円柱状で花卉様のひだやミゾのあるものが 2 社 10 銘柄、円錐の様な形状でミゾのあるものが 2 社 8 銘柄あった。その他には、底の形状がハート型のもの（ハート柱）が 1 社 6 銘柄、半球状のものが 1 社 4 銘柄、底のややすばまった四角柱のものが 1 社 4 銘柄あった（表 2）。

表2. ゼリー自体の形状

	バケツ様(ひだ・ミゾ有)	円錐	ハート柱
ゼリー自体の形状			
こんにゃく入りゼリー	2社 10銘柄 半球	2社 8銘柄 四角柱	1社 6銘柄
ゼリー自体の形状			
こんにゃく入りゼリー	1社 4銘柄	1社 4銘柄	

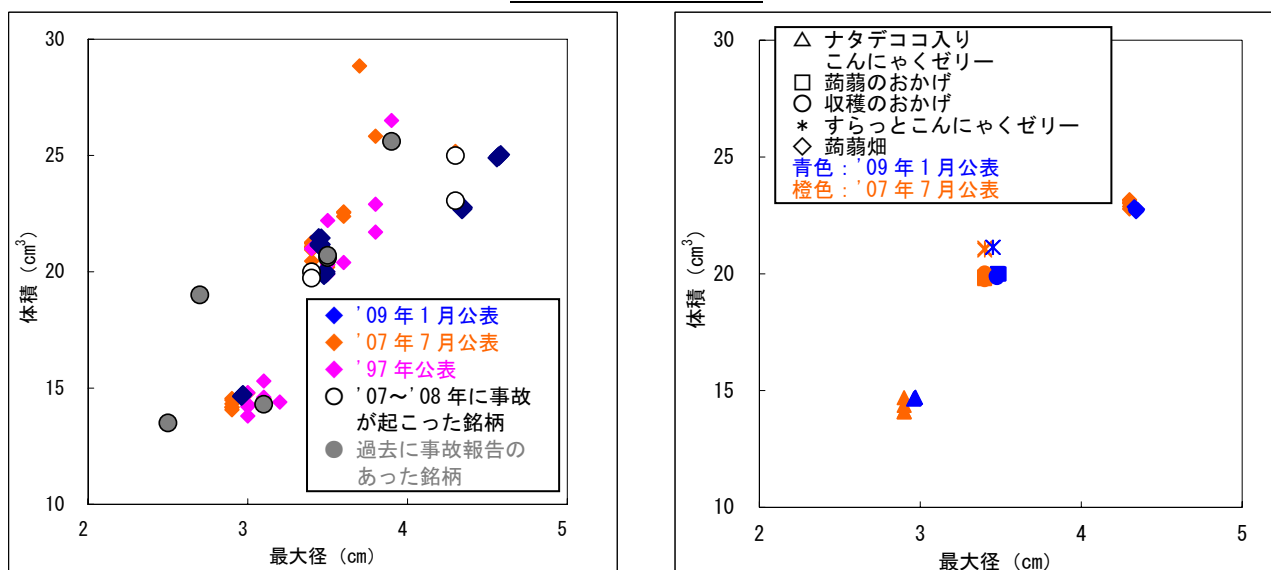
四角柱のような'07年7月に公表したときにはなかったタイプもみられたが、'07年7月に公表した18銘柄は、2銘柄を除き、その形状はほとんど変わっていなかった。

2) 最大径と体積

最大径と体積の傾向は、過去のテストと比べほとんど変わらない

フタに接している部分の最大径とゼリーの体積を調べた(図3左)。また、'07年7月にテストを実施したときと同じ銘柄名の商品は、'07年7月時と今回のデータを重ねたグラフを作成した(図3右)。

図3. 最大径と体積



現在販売されている商品の全体の傾向としては、過去に公表したときと同様、銘柄により大きさや形状は様々であった。また、'07年7月に公表したテスト結果と比べると、同じ銘柄名で販売されているもので、大きさや形状に大幅な変更があったものは少なく、最大径や体積もほぼ同じという結果となっている。

ゼリー最大径と体積については、過去に国民生活センターで行ったテスト結果と同様に銘柄によるばらつきが大きい、どの銘柄も一口で食べることが可能であると考えられる。

5. 表示及び販売

(農林水産省から業界への通知)

農林水産省より全国こんにやく協同組合連合会、全国菓子工業組合連合会及び全日本菓子協会の業界 3 団体に対し出された「こんにやく入りゼリーによる窒息事故防止に向けた対策の強化について」(平成 20 年 9 月 30 日付)の主なポイントは以下の 4 点であった。

1. 貴団体の取り組んでいるこんにやく入りゼリーに関する警告マークや注意メッセージの表示については、小さくて見にくいとの指摘があることから、その大きさを大きくし、警告文を大きく商品前面に記載するとともに、個包装(カップ)にも警告のための表示を行なうなど、消費者にはっきりとわかるものにする事。
2. 吸い込みにより窒息事故が発生していることから、吸い込んだ場合の危険性を踏まえ、ゼリーの大きさ、形状、固さ、弾力性、容器の形状・タイプなどについて改善や変更を行うこと。
3. 小売店における注意事項の掲示を行うことや子供向け菓子類と一緒に販売しないことなど、販売業者に協力を要請し、販売の際にも事故の防止の工夫を行うこと。
4. 会員企業等に対し、事故情報を得た場合には、局長通知に基づき速やかに農林水産省に通報するよう徹底すること。

(業界団体の対応)

農林水産省からの通知を受けて、10月3日に業界3団体連名で出された「一口タイプのこんにやく入りゼリーの事故防止強化策について」では、表示について以下の3点がポイントとしてあげられている。

1 袋おもて面の警告内容の明確化及び警告マークの拡大

消費者が分かりやすく、また、警告マークの警告内容が十分に伝わるようにするため、新たに大きな白抜き四角スペースを設けて、「～お願い～ 小さなお子様や高齢者の方は絶対に食べないで下さい。本品は弾力性があり、そしゃく力の弱い小さな

お子様や高齢者はのどに詰まる恐れがあります。」という文章での警告表示を行う。
また、警告マークについても従来より大きくする。

2 袋の裏面の警告表示等の改善

消費者に分かりやすくするため、裏面の警告表示枠内の文字を大きくする。また、事故防止対策に万全を期すため、新たに、

- ・凍らせないこと、
- ・召し上がり方についての注意、

を表示事項として追加する。

3 個包装の表示の改善

袋の中の個々のミニカップのフタ部分にも、警告マーク（文章入り）又は「お子様や高齢者の方は食べないで下さい。」という表示を大きくはっきりと分かるように行う。（例えば、個包装のトップシールの3分の1程度を占める割合）

（表示及び販売の実態）

今回は、検体を購入した'08年12月上旬の時点で、どの程度の商品が上記の「こんにゃく入りゼリーによる窒息事故防止に向けた対策の強化について」（平成20年9月30日付）に対応しているか及びパッケージの注意表示の内容等を調べた。

（1）表示について

1）袋おもて面の警告内容の明確化及び警告マークの拡大について

外装パッケージの表面に大きな警告絵表示等が、また裏面には大きく取り扱い等が記載されていた

テストをした6社中5社で、新規のパッケージ、もしくは後付のシールにより業界団体が推奨する新規警告表示へと対応していた（表3及び参考資料2参照）。

表3. パッケージ表面新規警告表示への対応状況

銘柄	製造者または 販売者・輸入者	外装パッケージ表面の表示	
			新規警告表示 
1 ナタデココ入り こんにゃくゼリー	(株)アイプティ	○	×
2 やっぱり安心 ゼロカロリー	サニーヘルス(株)	○	○
3 蒟蒻のおかげ	(株)下仁田物産	○	○
4 収穫のおかげ 蒟蒻ゼリー	(株)ハーベスト	○	○
5 すらっと こんにゃくゼリー	富士正食品(株)	○	○
6 蒟蒻畑	(株)マンナンライフ	○	○

2) 袋の裏面の警告表示等の改善について

「子どもや高齢者は食べない」や「凍らせないこと」についてはほとんどのメーカーで表示されていた

「子どもや高齢者は食べない」や「凍らせないこと」については、6社全部の商品で表示されていた。また、「吸い込まない」については、6社中4社の商品で表示されていた（表4及び参考資料2参照）。

3) 個包装の表示の改善について

ミニカップのフタ部分に新規の警告表示をしているメーカーは1社のみであった

個々のミニカップのフタ部分にも、警告マーク（文章入り）又は「お子様や高齢者の方は食べないで下さい。」という表示を大きくはっきりと分かるように表示していたのは6社中1社の商品のみであった（表4及び参考資料2参照）。

表4. ミニカップのフタ及びパッケージ裏面の表示内容

銘柄	製造者または 販売者・輸入者	容器・包装の表示								原産国		
		ミニカップのフタ		外装パッケージ裏面								
			その他の表示	子どもや高齢者は食べない	のどに詰まる危険性	万が一の対応	吸い込まない	凍らせないこと	子どもの手の届くところに保管しない			
1	ナタデココ入り こんにやくゼリー	(株)アイブティ	×	—	○	○	○	○	○	○	台湾	
2	やっぱり安心 ゼロカロリー	サニーヘルス(株)	×	—	○	○	○	○	○ (表面)	○	—	
3	蒟蒻のおかけ	(株)下仁田物産	×	吸い込まない	○	○	○	×	※	○	○	—
4	収穫のおかけ 蒟蒻ゼリー	(株)ハーベスト	×	吸い込まない	○	○	○	×	※	○	○	—
5	すらっと こんにやくゼリー	富士正食品(株)	×	—	○	○	○	○	○ (表面)	○	○	—
6	蒟蒻畑	(株)マンナンライフ	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—

※パッケージには記載がないが、ミニカップのフタに記載されている。

(2) 販売実態について

販売店での警告表示や販売場所については、菓子と一緒に警告表示もなく販売されているところも見られた

業界団体の販売方法の改善では、「小売業、卸売業の団体に、(省略)店頭において警告表示の掲示、子供向け菓子と一緒に販売しないなどの取組に、傘下企業の協力をお願いする」とされている。

そこで、参考として、東京都及び神奈川県内の一部の店舗で、こんにやく入りゼリーの販売実態を調べた（表5参照）。

表5. 販売店での販売実態（参考）

銘柄	製造者または 販売者・輸入者	小売店での表示・陳列場所等		
		購入 店舗	店内注意 表示	陳列の 場所
1	ナタデココ入り こんにやくゼリー (株)アイプティ	100円 ショップ	×	菓子売場
2	やっぱり安心 ゼロカロリー サニーヘルス(株)	通販	—	—
3	蒟蒻のおかげ (株)下仁田物産	スーパー マーケット	○	乳製品 冷蔵ケースの脇
4	収穫のおかげ 蒟蒻ゼリー (株)ハーベスト	ディスカウント ショップ	×	菓子売場
5	すらっと こんにやくゼリー 富士正食品(株)	ドラッグ ストア	○	ダイエット食品売場
6	蒟蒻畑 (株)マンナンライフ	ディスカウント ショップ	×	菓子売場
	蒟蒻畑ライト (株)マンナンライフ	ドラッグストア	○	ダイエット食品売場
			×	店頭特売品売場 (菓子横)

※'08年12月5～10日に調査した店舗のみによる実態である。

その結果、一部の薬局やスーパーマーケットでは、警告表示がなされていたが、ディスカウントショップ等では、菓子と一緒に警告表示もなく販売されているところも見られた。

6. 消費者へのアドバイス

ミニカップタイプのこんにゃく入りゼリーは子どもや高齢者に与えてはいけない

こんにゃく入りゼリーは、普通のゼリーよりもかたく、弾力性も強いものが多い。また、水に極めて溶解しにくく、口腔内ではほとんど溶解しない。行政やメーカーによる改善努力も行われているが、そしゃく力の弱い子どもや高齢者では、全般的に窒息事故を起こす危険性を否定できない。ミニカップタイプのこんにゃく入りゼリーは子どもや高齢者に与えてはいけない。

○情報提供先

- ・ 内閣府 国民生活局 総務課 国民生活情報室
- ・ 内閣府 国民生活局 消費者安全課
- ・ 内閣府 食品安全委員会 事務局 評価課
- ・ 内閣府 食品安全委員会 事務局 情報・緊急時対応課
- ・ 厚生労働省 医薬食品局 食品安全部
- ・ 農林水産省 生産局 生産流通振興課
- ・ 農林水産省 総合食料局 食品産業振興課
- ・ 農林水産省 消費・安全局 消費・安全政策課
- ・ 全日本菓子協会
- ・ 全国菓子工業組合連合会
- ・ 全国こんにゃく協同組合連合会

7. テスト方法

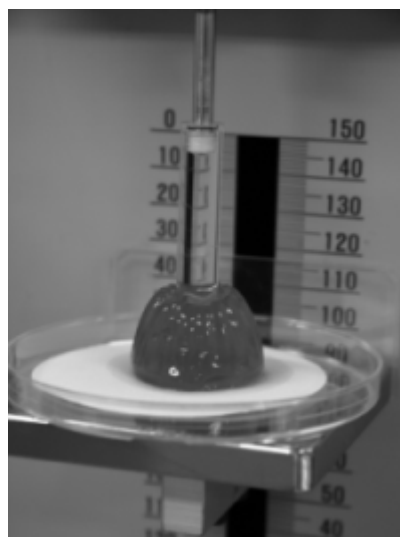
1) かたさ・弾力性

気温 20℃、相対湿度 60%RH に設定した恒温恒湿室内で、レオメーター（株式会社サン科学 TYPE CR-200D）により測定した。なお、ゼリーは、恒温恒湿室内で 3 時間以上放置した後に測定に用いた。

プランジャーは直径 10mm の円柱状のものを使用し、ゼリーとの距離 10mm の位置から 60mm/分の速度でゼリーを圧搾し、ゼリーの表面が破断するまでにかかった力（gf：かたさ）とゼリーの表面が破断するまで陥没した距離（mm：弾力性）を測定した。なお、ゼリーとプランジャーの接触面がプランジャー面積を下回るものは、ゼリーを一部カットして測定した。

測定は、1 銘柄につき 5 個以上行い、最大と最小の測定値を除いた 3 点以上の平均値を結果とした。なお、複数のフレーバーが混在する銘柄については、各フレーバーを 2 個以上測定し、最大と最小の測定値を除いた平均値を結果とした。

図 4. テスト風景



2) 最大径・体積

最大径は、気温 20℃、相対湿度 60%RH に設定した恒温恒湿室内で、ゼリーの容器 3 個のフタに接触する部分の最大の距離を測り、その平均を結果とした。

体積は、気温 20℃、相対湿度 60%RH に設定した恒温恒湿室内で、ゼリーの空き容器に水を満たし、その重量を測定し、それよりゼリーの体積を算出した。測定は 3 個の容器について各々 3 回以上実施し、その平均値を結果とした。

8. 参考資料

参考資料 1 テスト対象銘柄一覧

銘柄 No.	銘柄名	販売者 もしくは輸入者	製造者	原産国
1	ナタデココ入りこんにやくゼリー ブドウ味	輸入者 (株)アイプティ	—	台湾
2	ナタデココ入りこんにやくゼリー マンゴー味			
3	ナタデココ入りこんにやくゼリー 青りんご味			
4	ナタデココ入りこんにやくゼリー ライチ味			
5	ナタデココ入りこんにやくゼリー 青りんごヨーグルト味			
6	ナタデココ入りこんにやくゼリー オレンジヨーグルト味			
7	ナタデココ入りこんにやくゼリー イチゴヨーグルト味			
8	こんにやくゼリー プリン味			
9	やっぱり安心 ゼロカロゼリー	販売者 サニーヘルス(株)	—	—
10	やっぱり安心 ゼロカロゼリー (和風)			
11	蒟蒻のおかげ ぶどう味	—	(株)下仁田物産	—
12	蒟蒻のおかげ ピーチ味			
13	蒟蒻のおかげ りんご味			
14	蒟蒻のおかげ マンゴープリン			
15	蒟蒻のおかげ 杏仁プリン			
16	収穫のおかげ 蒟蒻ゼリー (ぶどう味)	販売者 (株)ハーベスト	—	—
17	収穫のおかげ 蒟蒻ゼリー (ピーチ味)			
18	収穫のおかげ 蒟蒻ゼリー (りんご味)			
19	すらっとこんにやくゼリー グレープフルーツ	—	富士正食品(株)	—
20	すらっとこんにやくゼリー グレープ			
21	すらっとこんにやくゼリー ピーチ			
22	すらっとこんにやくゼリー マンゴー			
23	すらっとこんにやくゼリー 青りんご			
24	すらっとこんにやくゼリー ブルーベリー			
25	すらっとこんにやくゼリー オレンジ			
26	すらっとこんにやくゼリー アセロラ			
27	蒟蒻畑 ぶどう味	—	(株)マンナンライフ	—
28	蒟蒻畑 白桃味			
29	蒟蒻畑 りんご味			
30	蒟蒻畑 ライト ぶどう味			
31	蒟蒻畑 ライト 白桃味			
32	蒟蒻畑 ライト りんご味			

参考資料2 パッケージ・ミニカップ等の注意表示

		(株)アイプティ	
銘柄		ナタデココ入り こんにゃくゼリー	ナタデココ入り こんにゃくゼリー
		ブドウ味 マンゴー味 青リンゴ味 ライチ味	青リンゴヨーグルト味 オレンジヨーグルト味 イチゴヨーグルト味
外装パッケージ (表面)			
	注意表示	<p>外装パッケージ (裏面)</p> <p>△警告 ※ お子様や高齢者の方は、のどに詰まるおそれがありますので、食べないでください。 ※ 方が一、のどに詰まった場合には、箸の上につづがせにして背中をたたくか、または、にぎりこぶしをみぞおちに当てて押し上げ、吐き出させてください。 ※ お子様の手の届かないところに保管してください。</p> <p>△注意 - 口の中でとけるものではないので飲み込まないで下さい。 - そのまま飲み込みますと、のどに詰まる可能性がありますので、飲み込まずにつまんで押し出し、強く噛んでお召し上がり下さい。 - 開封時に内容液が溢れ出すことがありますのでご注意ください。 - 調理用として熱を加えたり、凍らせないで下さい。 - 製品中にこんにゃく粉由来の黒い粒が見えることがあります。品質には問題ありません。 - 色合いが変化する場合がありますが、品質には問題ありません。</p> <p> カップを斜めにつまんで押し出し、飲み込まずに強く噛んでお召し上がり下さい。</p>	<p>外装パッケージ (裏面)</p> <p>△警告 ※ お子様や高齢者の方は、のどに詰まるおそれがありますので、食べないでください。 ※ 方が一、のどに詰まった場合には、箸の上につづがせにして背中をたたくか、または、にぎりこぶしをみぞおちに当てて押し上げ、吐き出させてください。 ※ お子様の手の届かないところに保管してください。</p> <p>△注意 - そのまま飲み込みますと、のどに詰まる恐れがございます。よく噛んでお召し上がりください。 - 冷凍や加熱等はしないでください。 - 容器のみたをはがす際は、液がはねることがございますので、ご注意ください。 - カップからゼリーが出にくい場合は、スプーン等ですくってお召し上がりください。 - 製品中にこんにゃく粉由来の黒い粒が見えることがあります。品質には問題ありません。 - 色合いが変化する場合がございますが、品質には問題ございません。</p> <p> カップを斜めにつまんで押し出し、飲み込まずに強く噛んでお召し上がりください。</p>
ミニカップ			

銘柄	サニーヘルス(株)	(株)下仁田物産
	やっぱり安心 ゼロカロゼリー ゼロカロゼリー ゼロカロゼリー和風	蒟蒻のおかげ ぶどう味 ピーチ味 りんご味 マンゴープリン 杏仁プリン
注意表示	外装パッケージ (表面) 	
	外装パッケージ (裏面) 	
ミニカップ		

		(株)ハーベスト	富士正食品(株)
銘柄		収穫のおかげ 蒟蒻ゼリー	すらっと こんにやくゼリー
		ぶどう味 ピーチ味 りんご味	グレープフルーツ グレープ ピーチ マンゴー 青りんご ブルーベリー オレンジ アセロラ
注意表示	外装パッケージ (表面)		
	外装パッケージ (裏面)		
ミニカップ			

		(株)マンナンライフ	
		蒟蒻畑	蒟蒻畑ライト
銘柄		ぶどう味 白桃味 りんご味	ぶどう味 白桃味 りんご味
	外装パッケージ (表面)		
	注意表示		
ミニカップ			

参考資料3

こんにやく入りゼリーによる窒息事故の再発防止について

平成20年10月16日

消費者安全情報総括官会議申合せ

こんにやく入りゼリーによる窒息事故については、昨年来、関係者による再発防止に向けた取組にもかかわらず、新たな死亡事故が発生していることに鑑みて、早急に政府一体となって再発防止に取り組んでいくため、下記のとおり申し合わせる。

記

1 消費者への注意喚起等

(1) 関係団体等への協力要請

- ・既に流通している注意喚起の表示が小さな商品や表示がない商品について、包装の上からシールを貼付して一層の注意喚起を図る、店頭から自主回収を行う、店頭において注意情報を提供するなど、当該商品による新たな事故発生を防止するために必要な措置を講ずるよう、製造及び流通関係団体等に対して、関係府省連名による協力要請を行う
- ・農林水産省は、消費者へのわかりやすい注意情報（窒息死亡事故発生のリスク、一般的なゼリーとの違い等）の提供を徹底するための措置を特に講ずる場合を除き、新たに商品を流通させないよう、製造関係団体等に対して協力要請を行う

(2) 行政からの周知

- ・関係府省は、様々な媒体（ホームページ、情報提供誌等）を通じて、消費者へのわかりやすい注意情報の提供を行う
- ・関係府省は、地方公共団体を通じ、関係機関（児童福祉施設、老人福祉施設、介護保険施設、学校、学校法人等）に対して、乳幼児、児童や高齢者の方々が食べることをしないよう等周知するとともに、これらの方々に提供することをしないよう等要請する

2 改善策

(1) 表示、形状、物性等の改善

- ・農林水産省は、表示、形状、物性や販売方法などについて、製造関係団体等に対して改善策を講ずるよう協力要請を行う

- ・特に、形状及び物性等の改善については、消費者目線から検討を進め、年内を目途として、再発の防止につながる実効的な改善策を講ずるよう求める

(2) 改善状況の把握と情報提供

- ・農林水産省、独立行政法人国民生活センターは、表示、形状、物性、販売方法などの改善状況について適時把握を行い、関係機関及び一般消費者に対して情報提供を行う

3 今後の検討課題

- (1) 厚生労働省は、年度内を目途として、こんにゃく入りゼリーを含む食品による窒息の要因及び事例の分析、窒息リスクに関する意識調査等を通じ、こんにゃく入りゼリーの他、もち、あめ等の食品による窒息事故の再発防止等に関わる科学的知見の集約等を進める
- (2) 食品安全委員会は、(1) で得られた知見及び他機関の協力を踏まえて、こんにゃく入りゼリーの物理的・化学的等要因が人の健康に及ぼす影響についての評価（諸外国が実施した評価のレビューを含む）を行う
- (3) 内閣府は、上記の改善状況の把握、調査、評価等を踏まえ、消費者庁発足後の対応方針について検討を進める